

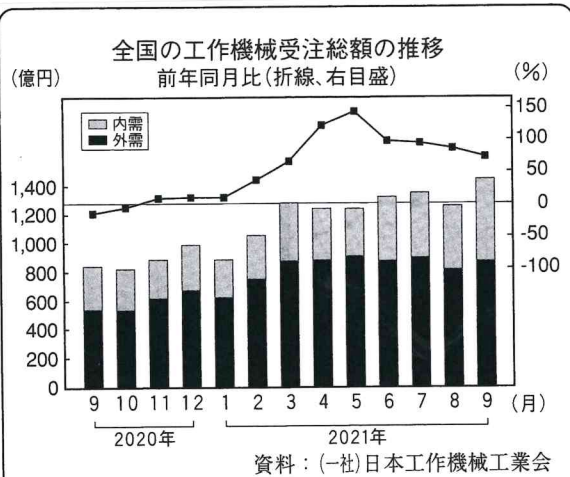


## 新年明けましておめでとうございます

昨年も新型コロナウイルス感染症に一喜一憂した年となりましたが、現在の世の中の流れはコロナ終息後の「アフターコロナ」の観点からコロナと共存する「ウィズコロナ」の観点へ転換しつつあります。つまり、コロナ感染症の影響で何も出来ないのではなく、コロナ禍において何が出来るのか、如何に前に進んでいくのかを考え実行する時代となっています。

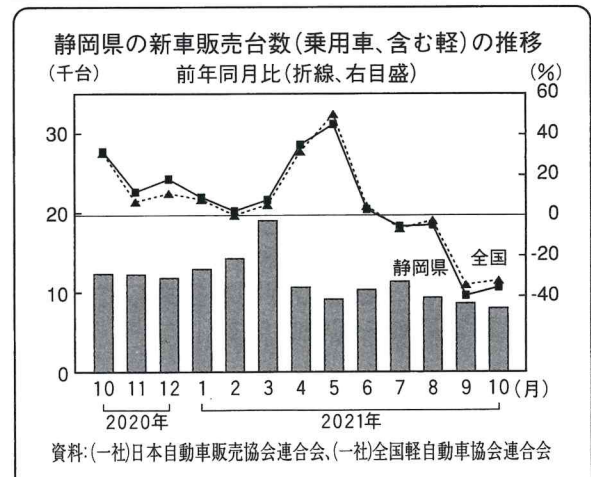
組合事務局としては組合員企業のため当団地組合のため、知恵を絞って前に進んでいけるよう、皆様のお力をお借りしながら努めていく所存です。本年も宜しくお願い致します。

以下は静岡経済研究所の景況レポート「静岡県の経済指標の動き」からの抜粋です。



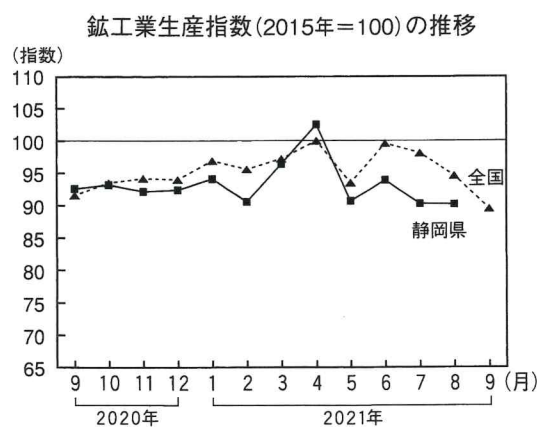
9月の工作機械受注総額(全国)は1,445億9,600万円で前年比+71.9%と、11カ月連続でプラスとなった。

内訳は、内需が575億6,000万円(前年比+90.2%)で7カ月連続で前年比プラス、外需は870億3,600万円(同+61.7%)で11カ月連続してプラスと、内外需ともに大幅に前年を上回った。



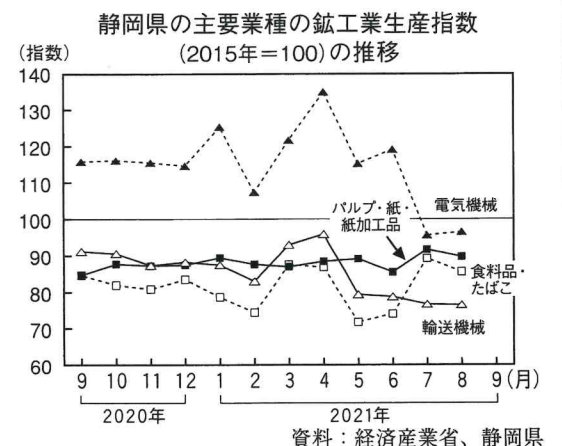
10月の静岡県内の新車販売台数(乗用車、含む軽自動車)は7,981台で前年比△35.6%と落ち込み、4カ月連続のマイナスとなった。

車種別では、普通・小型車が4,469台(前年比△36.1%)で2カ月連続のマイナス、軽自動車は3,512台(同△34.9%)で、4カ月連続のマイナス。



8月の静岡県の鉱工業生産指数は90.2(季節調整済、2015年=100)で4カ月連続して100を下回った。部品の不足や原材料の高騰で悪影響が生じている。

主要業種(季節調整済)では、電気機械が96.5(前月比+0.9%)と、若干上向いたものの2カ月連続で100を



下回り、輸送機械76.5(同△0.3%)、食料品・たばこ85.5(同△4.1%)、パルプ・紙・紙加工品89.7(同△2.2%)は、前月を下回った。

その他の業種では、汎用・生産用・業務用機械119.3(同+4.4%)、電子部品・デバイス134.7(同△2.8%)などが100を上回った。